



# 地域への取組み

## 地域密着型金融の推進への恒久的な取組み

### 企業理念

## 「地域とともに お客さまのために『親切』の心で」

当行は、この企業理念の実践こそが、地域密着型金融の実現そのものであると考えております。地域の中小企業・個人事業主、個人のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えし、円滑な資金供給に努めるとともに、地域の中小企業等に対する経営支援や地域経済の活性化に積極的に貢献し、地域金融機関としての責務を果たしてまいります。

平成25年4月よりスタートした中期経営計画「変革・成長戦略“2nd Stage”」においては、「地域のお客さまのベスト・コンサルタント」の実現に向け、各重点施策の実行を通じ、お取引先企業の成長支援・経営支援を主とした地域密着型金融の推進に積極的に取組み、地域やお客さま、そして当行自身の成長・発展を目指しております。

当行では、中長期的な視点に立ち、地域密着型金融の推進にあたり、①顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮、②地域の面的再生への積極的な参画、③地域や利用者に対する積極的な情報発信の取組み、を全行的取組みとして継続的に推進し、当行顧客基盤の拡大および収益力・財務健全性の向上につなげてまいります。

### 数値目標の進捗状況(平成25年4月～平成25年9月)

取組み項目	数値目標 (平成25年4月～28年3月)	実績 (平成25年4月～25年9月)	進捗率 (%)
創業・新事業支援融資	150件以上	17件	11.3%
営業斡旋、ビジネスマッチング等の数	300件以上	173件	57.6%
各種講演会、セミナーの開催数	50回以上	13回	26%
個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資	融資実行件数 150件以上	融資実行件数 31件	20.6%
海外進出支援相談件数	30件以上	5件	16.6%
経営改善支援取組み率(注1)	11%以上	9.0%	81.8%
経営改善支援先に対する経営改善計画策定先数	100先以上	26先	26%
経営改善支援先に対する債務者区分ランクアップ率(注2)	10%以上	3.6%	36%
再生計画策定率(注3)	10%以上	7.1%	71%
事業再生に向けた取組み先数(注4)	30先以上	14先	46.6%
事業承継案件への関与数	100社以上	46件	46%
経営革新等支援機関対応件数	100件以上	15件	15%

(注1) 経営改善支援取組み率=経営改善支援先(正常先除く)/期初債務者数(正常先除く)

(注2) 経営改善先に対する債務者区分ランクアップ率=経営改善支援先のうち期初比債務者区分ランクアップ先/経営改善支援先数(正常先除く)

(注3) 再生計画策定率=再生計画策定先数(正常先除く)/経営改善支援先数(正常先除く)

(注4) 中小企業再生支援協議会支援決定、千葉中小企業再生ファンド活用、RCC企業再生スキーム活用、DES・DDSの活用、再生企業に対するエグジットファイナンス実行、外部コンサルティング会社活用等の先数

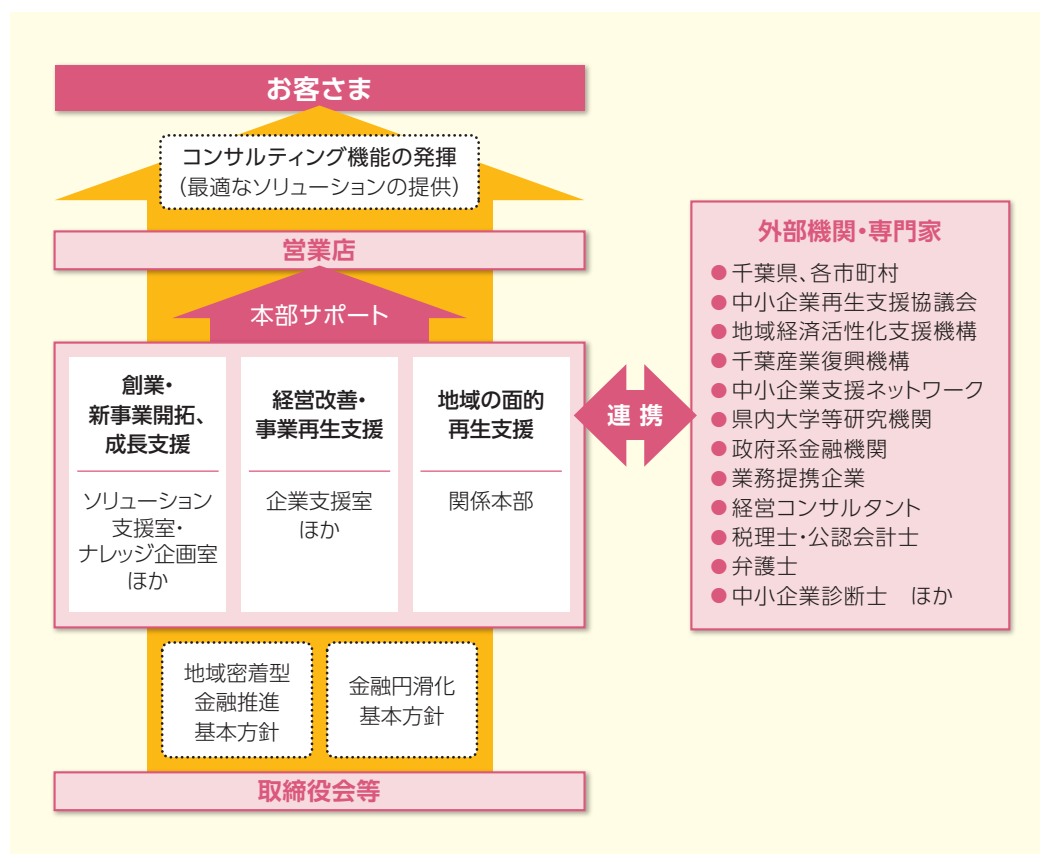
## 「中小企業の経営の改善および地域の活性化のための取組みの状況」

### 1 中小企業の経営支援に関する取組み方針

当行は、地域の中小企業等お客さまの状況をきめ細かく把握し、関係する他の金融機関等と十分連携を図りながら、円滑な資金供給に努めるとともに、お借入条件の変更等のご相談へ適切に対応してまいります。特に、地域金融機関として地域経済の活性化、および地域における金融の円滑化等に向け、「地域密着型金融推進に関する基本方針」「金融円滑化に関する基本方針」に基づき、コンサルティング機能の発揮を通じ、中小企業をはじめとするお客さまの経営改善等に向けた取組みを積極的に支援してまいります。

### 2 中小企業の経営支援に関する態勢整備

当行は、中小企業等の経営の改善および地域の活性化に向け、本部と営業店との協働や、外部機関・専門家の活用・連携により、中小企業等のお客さまの抱える経営課題に対し、適切なコンサルティング機能を発揮するよう態勢を整備しております。また、当行は、中小企業経営力強化支援法に基づく「経営革新等支援機関」の認定を受けております。



経営方針

平成25年度  
中間期の  
概要

経営・内部  
管理体制等

地域への  
取組み

トピックス

中間財務  
諸表等

損益の状況

経営諸比率

営業の状況

資本の状況・  
株主の状況

中間連結  
決算

自己資本の  
充実の状況等  
について



## 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮(中小企業の経営支援に関する取組みの状況)

当行グループや外部機関とのネットワークを活用し、お客さまのライフステージや経営課題・相談ニーズに応じて、創業・新規事業、経営改善支援、事業再生支援に積極的に取組んでおります。

### ■ 創業・新事業開拓をめざす企業に対する支援

公的な補助金や制度融資、企業育成ファンド等を活用し、事業立ち上げ時の資金需要に対して積極的に対応するほか、産官学連携を活用し、企業の技術評価と製品化・商品化、販路開拓、人材確保等の支援に取組んでおります。

#### ■ 主な取組み実績

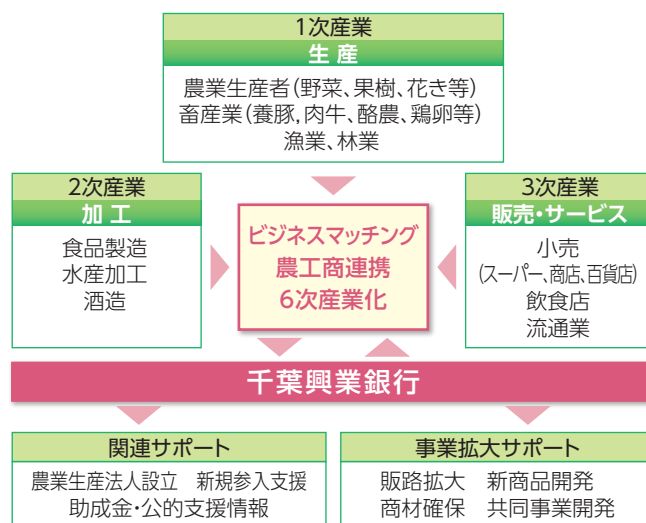
- 千葉県をはじめとする地方公共団体の制度融資の活用
- ちば興銀「新規開業医ローン」の活用
- 事業多角化(農業法人設立による新規参入等)への支援
- 6次産業化事業体への投資や育成支援を目的とする「ちば農林漁業6次産業化ファンド」への出資参加(平成25年5月)
- 創業・起業をサポートする「創業補助金」制度に係るご相談対応：3件(当行:認定支援機関)

#### 農商工連携・事業多角化支援

### —農商工連携・事業多角化支援—

農林漁業者と商工業者等が通常の商取引関係をを超えて協力し、お互いの強みを活かして新商品・研究開発・販路開拓等を行う新規需要の開拓をお手伝いいたします。

また、農業生産法人設立などの事業多角化のサポートなど、当行の持てるコンサルティング機能を発揮し、取引先のお役に立つ活動を行っております。



#### 新事業開拓支援

### —農業分野に進出した企業の事業展開サポート—

取引先の事業多角化ニーズに対応し、異業種から農業分野に進出した企業において、新事業を軌道に乗せるためのさまざまなサポートを行いました。

長期にわたって休眠状態であった農業生産法人について、事業構想をヒアリングして具体的な事業プランの策定を支援いたしました。また、「買い手が付く」農産物を調査して情報を提供するとともに、効率よく栽培できるよう農業技術者の紹介や農産物の販売先の紹介を行いました。

さらに、食品残渣から堆肥を生産している関連会社の販路開拓についても支援するなど、取引先企業の事業展開をサポートいたしました。

## ■ 成長段階にある企業に対する支援

ビジネスマッチングや技術開発支援による販路拡大支援、海外進出等の新たな事業展開に向けた情報の提供、事業拡大に必要な調達手段の多様化への対応等、積極的に支援しております。また、JETRO等の公的機関、地方公共団体や中小企業支援団体、他の金融機関等と連携し、企業が成長する過程で必要なサポートに取組んでおります。

### 主な取組み実績

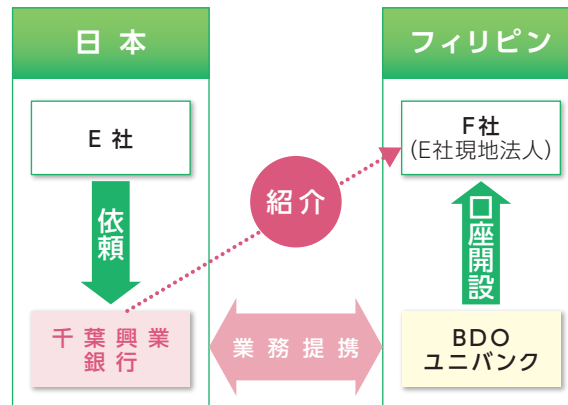
- ABL(診療報酬債権流動化等)活用等、不動産担保や個人保証に過度に依存しない融資の活用
- コベンツ付き融資、私募債の引受け、シンジケートローンのアレンジ等、お客さまの資金調達手段の多様化に対応
- 中堅・中小企業の海外進出サポート体制を強化するため、フィリピンの大手商業銀行「BDOユニバンク」との業務提携を開始(平成25年7月)
- 日本政策金融公庫千葉支店と連携した「ちば興銀・日本公庫連携融資『ウィズ』」の活用により、県内企業2社に運転資金をご融資
- 各種相談会やセミナーの開催、海外展示会の紹介

### 海外進出支援

### ー海外ビジネスサポート体制の強化ー

フィリピンの大手商業銀行「BDOユニバンク」との提携により、同国進出企業の資金管理に関するご相談に対応いたしました。

当行が窓口となり、取引先E社のフィリピンにおける現地法人F社に「BDOユニバンク」を紹介し、F社が口座開設および国際CMSを導入したことで、同社の資金管理ならびにリスク管理が国内E社にて可能となりました。



## ■ 経営改善・事業再生が必要な企業に対する取組み

経営課題の把握と分析による取引先企業の事業持続可能性を踏まえた経営改善・事業再生等に対して積極的に取組んでおります。

また、経営改善・事業再生支援の実効性を向上させるため、行員のスキルアップに取組んでおります。

### 主な取組み実績

#### 経営改善支援先200先を中心に経営改善支援・事業再生支援へ積極的に取組み

- 「中小企業再生支援協議会」2次対応決定先：21先
- 「中小企業再生支援協議会」扱い有担保型DDSスキーム承認先：1先
- 経営改善計画策定先：26先
- 経営改善支援による債務者区分ランクアップ先：7先
- 認定支援機関申請先：4先(千葉県3先、東京都1先)
- 「千葉産業復興機構」買取り実施先：2先
- 経営改善計画策定(行内)研修開催：19名参加

経営方針

平成25年度  
中間期の  
概要

経営・内部  
管理体制等

地域への  
取組み

トピックス

中間財務  
諸表等

損益の状況

経営諸比率

営業の状況

資本の状況・  
株主の状況

中間連結  
決算

自己資本の  
充実の状況等  
について

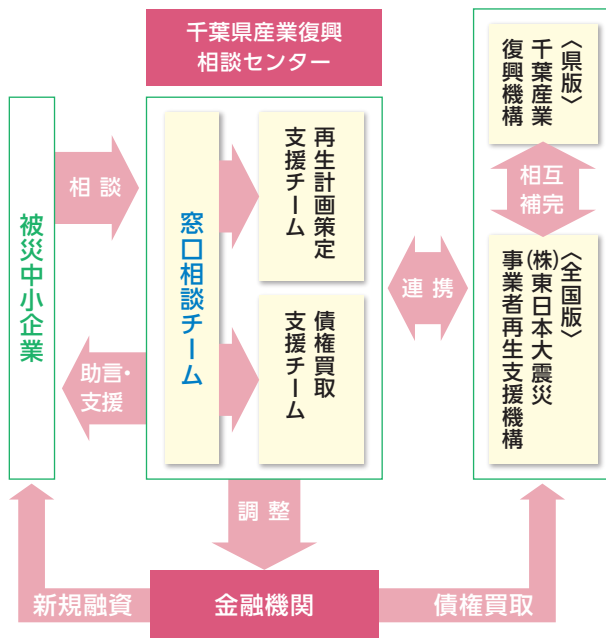


東日本大震災  
からの復興支援

## —千葉産業復興機構を活用した事業再生—

二重債務問題への対応については、平成24年3月に被災事業者の支援にかかる相談窓口として、「千葉県産業復興相談センター」が開所しました。また、早期の事業再生支援を目的とした「千葉産業復興機構」が県、地域金融機関と中小企業基盤機構の共同出資により設立されました。

当行は、千葉県産業復興相談センターへの人材派遣や、千葉産業復興機構への出資により、この震災復興支援スキームに参加しております。震災による影響を受けた中小企業のお客さまに対し、同スキームを活用した再生支援に、他の金融機関と協力し取り組みました。



## ■ 事業承継が必要な企業に対する支援

事業承継問題は当該企業の存続のみならず、取引先との商流、従業員の雇用、地域への影響等も大きいことから、経営者へ積極的に関与しています。外部専門家との連携による自社株評価や相続税試算、相続や自社株譲渡・株式買取資金の支援のほか、事業の見直し(第二創業)、ノンコア事業の切り離し、M&A、後継経営者の人材育成等、存続に必要な提案を積極的に行っております。

### 主な取り組み実績

- 相続関連業務のサポート体制拡充のため、「株式会社山田エスクロー信託」との業務提携を開始(平成25年8月)
- 次世代経営者の育成支援として「ちば興銀『経営塾』」を運営(第5期生30名参加、平成25年5月開講)、中期経営計画策定講座を開催(平成25年6月～9月)
- 本部ソリューション支援室による事業承継にかかる経営相談対応：46先
- 相続に関する相談：68先(本部サポート実施案件)
- M&Aニーズ対応：28件(本部サポート実施案件)

次世代経営者  
の育成支援

## —ちば興銀「経営塾」の運営—

ちば興銀「経営塾」は、地元企業育成支援・後継経営者育成支援の取組みのひとつとして、平成16年9月に設立されました。幅広い視点で経営を捉えていただくための視察会やセミナーを定期的で開催しております。

これまでに150名を超える塾生が学び、平成25年5月からは、第5期生のプログラムがスタートいたしました。





## 地域の面的再生への積極的な参画(中小企業の経営支援に関する取組みの状況)

「医療・介護・福祉」や「農林水産」といった成長分野事業の育成を通して地域経済の活性化に参画しております。また、地方公共団体や中小企業支援団体と連携し、地域情報の収集・蓄積と分析、ノウハウ・人材の提供を行ってまいります。

### 主な取組み実績

- 9月2日発生の突風等による被災者に対する「災害復旧支援資金『頑張ろう!千葉』」ならびに「災害復旧支援ローン」の取扱い開始(平成25年9月)
- メガソーラ建設取組み支援：融資実行額1,730百万円(5先7件)
- 「北海道銀行」と連携した地元物産展を開催
  - ・千葉県の物産販売と観光PR(平成25年8月、札幌ドーム球場)
  - ・北海道物産展(平成25年9月、QVCマリンフィールド)
- JR東日本による地域再発見プロジェクト「上野駅地産品ショップ『のもの』」を共催、取引先5社が千葉県物産品等の販売へ参加(平成25年7月)
- 次世代を担う子どもたちを対象とする金融教育・しごと体験イベント「夏休み体験隊『サマーキッズ・スクール2013』」を開催、県内小学生35名が参加(平成25年8月)
- インターシップの受入れ、県内大学・短大生44名が参加(平成25年8月)
- 職場見学の受入れ(県内小・中学生、高校生22名が来店・見学)

### 地域活性化に向けた取組み

#### －「北海道銀行」と連携した地元物産展を開催－

札幌ドーム球場で行われた、千葉ロッテマリーンズ・北海道日本ハムファイターズ戦「北海道銀行スペシャルデー」において千葉県の物産販売や観光PRを行いました。

当日は、お取引先企業の協力を得て、落花生や枇杷など、千葉県産の食材を活かした人気商品を北海道の皆さまに紹介いたしました。

また、千葉県とも連携し、観光パンフレットの配布や森田健作千葉県知事のビデオメッセージ放映など、来場者の皆さまへ千葉の魅力を直接発信いたしました。



### 次世代育成への取組み

#### －夏休み体験隊「サマーキッズスクール2013」の開催－

県内小学5・6年生を対象に毎年実施している金融教育・しごと体験イベントで、7年連続で開催しております。千葉商科大学大学院教授、伊藤宏一先生を講師として、「お金って何?」をテーマに、お金の意味や使い道などについて学習していただくとともに、マリーンズ戦のプログラムを販売する「働く」体験をすることで、大切なお金に関する理解を深めていただきました。



## 地域や利用者に対する積極的な情報発信の取組み

地域密着型金融推進の取組みについては、さまざまな機会を捉えて積極的な情報開示を行っております。本中間ディスクロージャー誌とあわせて当行ホームページ(<http://www.chibakogyo-bank.co.jp>)をご覧ください。

経営方針

平成25年度  
中間期の  
概要

経営・内部  
管理体制等

地域への  
取組み

トピックス

中間財務  
諸表等

損益の状況

経営諸比率

営業の状況

資本の状況・  
株主の状況

中間連結  
決算

自己資本の  
充実の状況等  
について



## 地域貢献活動

### 文化・スポーツ活動

#### 「コスモスコンサート」の開催

毎年6月、「千葉県民の日」を祝い、地元の皆さまにクラシック音楽に親しんでいただけるよう、千葉駅前広場にて、県立千葉女子高等学校オーケストラ部によるミニコンサートを開催しております。



#### 各種スポーツ大会・文化活動への貢献

当行と千葉県ゲートボール連盟との共催による「千葉興業銀行杯親善ゲートボール大会」を24年連続で開催しております。

平成25年9月開催の大会では、県内ゲートボール愛好家50チーム280名の方にご参加いただきました。

その他、千葉県体育協会や千葉県障がい者スポーツレクリエーション協会、千葉県文化振興財団等への協賛・協力も行っております。



### 環境への取組み

#### 「緑のカーテン運動」の展開

地域の皆さまとともに、環境にやさしい街づくりをめざす「緑のカーテン運動」(\*)のモデル実習として、パッションフルーツの栽培を行っております(平成25年度上期3か店)。

今後は地域の皆さまと一緒に、運動を展開していく予定です。

(※)「緑のカーテン運動」:光合成によるCO<sub>2</sub>の吸収を図るとともに、夏の強い日差しを遮り、空調負荷の低減をめざす壁面緑化活動です。



#### 環境美化活動の実施

例年、春の県下一斉ゴミゼロ運動に行員・スタッフおよびその家族がボランティア参加しております(全部室店参加総数1,049名)。また、国道14号・357号沿線の12企業・団体に組織される「国道をきれいにする会」に参加し、毎月沿道の清掃を実施するほか、各地域の環境美化活動にも積極的に参加しております。



## 社会奉仕活動

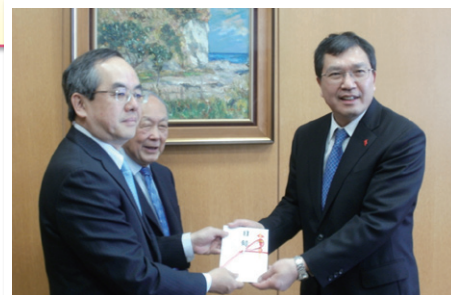
### 「小さな親切」運動の推進

当行は、33都道府県が参加する全国的組織「小さな親切」運動の千葉県本部として、県内の運動推進に努めております。「小さな親切」を実行した人に贈られる「実行章」は、千葉県内で平成25年度上期(4月～9月)において203名が受章されました(累計311千名以上)。当行行員は全会員登録しており、各地域でボランティア活動等を実施しております。



### 「交通安全意識を啓蒙」

当行と千葉日報社が共同で設立した「コスモス交通安全協会」より、県内新中学1年生へ地域ごとにスポークライト(自転車事故防止用反射板)を毎年贈呈しております(19年間で延べ230,900個)。また、県の交通安全推進委員会が推進する交通安全運動期間に、交通安全リボンを全行員・スタッフが着用し、交通安全意識の啓蒙に努めております。



### 寄付活動の実施

行員やお客さまから集めた不要衣料品を千葉県民間病院協会会員である柏戸病院と千葉みなと病院へ毎年寄贈しております。また、全店から集めた古切手・使用済テレカ等は、千葉市社会福祉協議会ボランティアセンターへ寄贈しており、車椅子購入やボランティア活動資金として利用されております。

当行役職員による募金活動「ともしびの会」では、毎年年末に県内の養護施設等への浄財を寄付しております(36年間延べ331施設4,079万円)



### 献血活動の実施

「日本赤十字社献血サポーター」登録企業として、毎年春・秋の2回、本店の行員・スタッフが多数献血に協力しております。



経営方針

平成25年度  
中間期の  
概要

経営・内部  
管理体制等

地域への  
取組み

トピックス

中間財務  
諸表等

損益の状況

経営諸比率

営業の状況

資本の状況・  
株主の状況

中間連結  
決算

自己資本の  
充実の状況等  
について